

特集
①

今日からできる！ 防災アクション

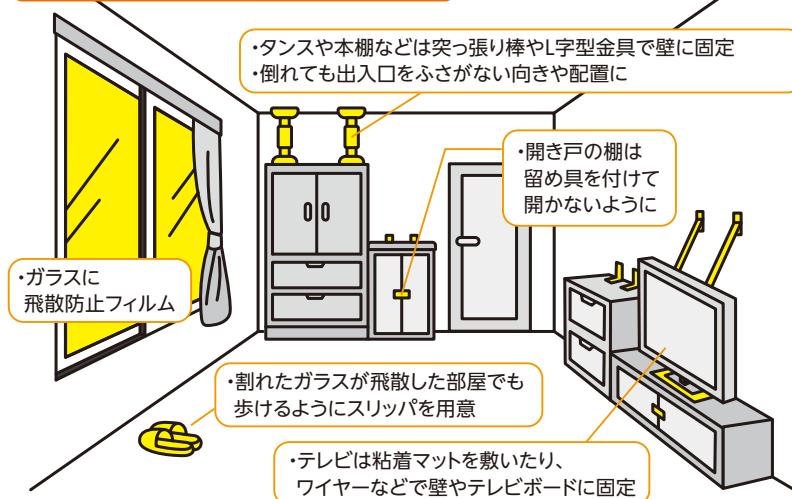
危機管理課 TEL/0776-20-0308
(地震保険に関すること)
建築住宅課 TEL/0776-20-0506
(木造住宅耐震化に関すること)
消防保安課 TEL/0776-20-0309
(感震ブレーカーに関すること)

令和6年能登半島地震から2年。地震により、多くの方が亡くなり、約16万5千棟の住まいが被害を受けました。「もしも」のとき、ご自身や家族を守る準備、できていますか？



家の中の安全対策

室内の安全を確保しよう！



木造住宅を耐震化しよう！

昭和56年以前に建てられた
木造住宅の耐震改修工事に
最大175万円を
補助しています!!

詳細はこちら



備蓄品・非常持ち出し品の準備

普段から飲料水や非常食などを一人3日分は用意しておきましょう。また、避難所生活に必要なものをリュックに詰めておき、玄関などすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。



備蓄品・非常持ち出し品の例



地震による電気火災を防ぐ／

感震ブレーカーを設置しましょう

地震による火災の5割以上は電気が原因※。「感震ブレーカー」は、震度5強相当の揺れを感知すると電気が自動的に止まり、火災を防止することができます。

※「2011年東日本大震災火災等調査報告書」による

【製品例】

各製品タイプの特徴を確認し、適切に選びましょう。



分電盤タイプ(後付型)

費用:約2万円
※電気工事が必要



簡易タイプ

費用:約2~4千円程度
※電気工事が不要で
ホームセンター等でも購入可



生活再建のためのまとまった資金／

地震保険の加入を検討しましょう！

地震、噴火またはこれらによる津波を原因とする
損害(火災・損壊・埋没・流失)を補償します。



出典:地震保険特設サイト

その差 約 **1,500** 万円



日頃の備え

ハザードマップの確認

身の回りでどんな災害が起こりそうか確認しておく。

国土交通省
「ハザードマップポータルサイト」



身近な避難所・避難場所を知っておく

自宅・会社・スーパーなど、普段いる場所と
避難所までの安全なルートを確認しておく。

防災情報アプリ
「全国避難所ガイド」



家族の集合場所を決める

さまざまな災害、発生時間を想定して3か所程度決める。

災害時の家族との連絡手段 (携帯電話がつかないとき)

●災害用伝言ダイヤル「171」

伝言を録音しておく、自分の電話番号を知っている家族が伝言を聞くことができます。

